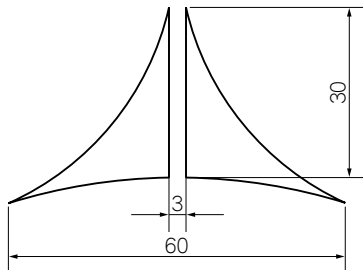
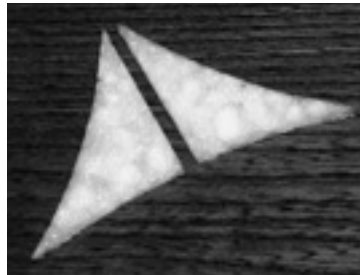


写真4-26 モータ・アクチュエータのケーブル処理

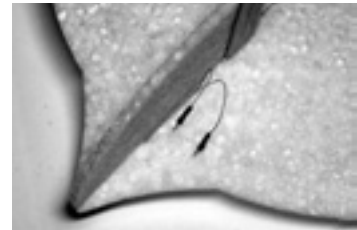
主翼と胴体の付け根にモータ・アクチュエータのケーブルを沿わせて、主翼上面まで持って来て、ケーブルの先端にコネクタ・ピンをはんだ付けする。



(a) ノーズ・フィンの寸法(単位: mm)



(b) 切り出したノーズ・フィン



(c) ノーズ・フィンの取り付け。ノーズ・フィンを貼り付ける前に、モータ・アクチュエータのケーブルを、主翼の上面に出しておく

図4-7 ノーズ・フィンの加工

受信機はモータ・マウントのついた胴体側面に貼り付けるので、コネクタ・ピンをつけたケーブルを、主翼前縁から上面に出しておきます(写真4-26)。

● ノーズ・フィンの取り付け

主翼前縁から突き出した胴体を、衝突時の折れ曲がりから保護するために、フィンを切り出してプラスチック用接着剤で貼り付けます(図4-7)。

● モータ・ユニットの取り付け

モータ・マウントにモータを取り付けます。前述のように2mmのプラスチック製ネジを使いますが、モータ・マウント穴を2mmで開けた場合は2mmのネジとワッシャと六角ナットを使います(写真4-27)。

写真4-28のように取り付けますが、モータの取り付け角度が調整できる程度にネジを締め付けておきます。

あとは受信機の取り付けと電池搭載部を加工すれば完成です。参考までに、この時点で重量は5.9gになります。

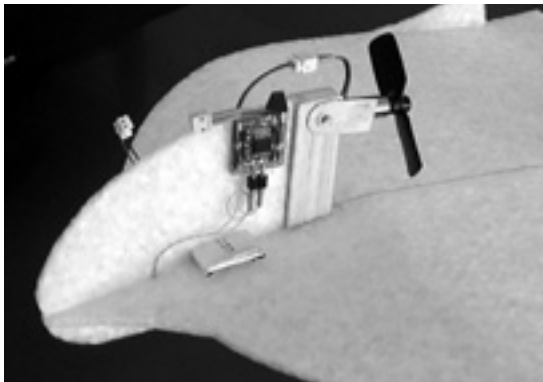
受信機を取り付ける胴体側面に、10mm×8mmほどにカットしたスポンジ両面テープを貼ります。



写真4-27 軽量のプラスチック・ネジ(単位: mm)



写真4-28 モータ・ユニットの取り付け
モータ・ユニット取り付け用の穴に、タップでネジを切っておけば、ワッシャとナットは不要で、その分軽くなる。



(a) 電池は重心を合わせてから、主翼上面の胴体にスリットを開け、押し込むようにしてセットする



(b) 重心位置の調整ができるように、電池をセットできるようにスリットを少し長めの穴にしておく

写真4-29 受信機と電池の搭載

表4-3 無尾翼インドア・トレーナのスペック

項目	スペック
翼幅	200mm
全長	230mm
翼面積	3.59dm ²
全備重量	9.1g(機体総重量 7g + 電池 2.1g)
翼面荷重	2.54g/dm ²
動力モータ	DIDEL MK06-4.5(1.3g)
プロペラ	GWS EP-2510 を 40mm にカット(0.4g)
アクチュエータ・モータ	SHICOH J7 3.2mm モータ(0.3g)
電池	IPX-70 リチウム・ポリマ電池(2.1g)
受信機	IRX2 2チャンネル赤外線受信機(1.1g)